

「冬」部門

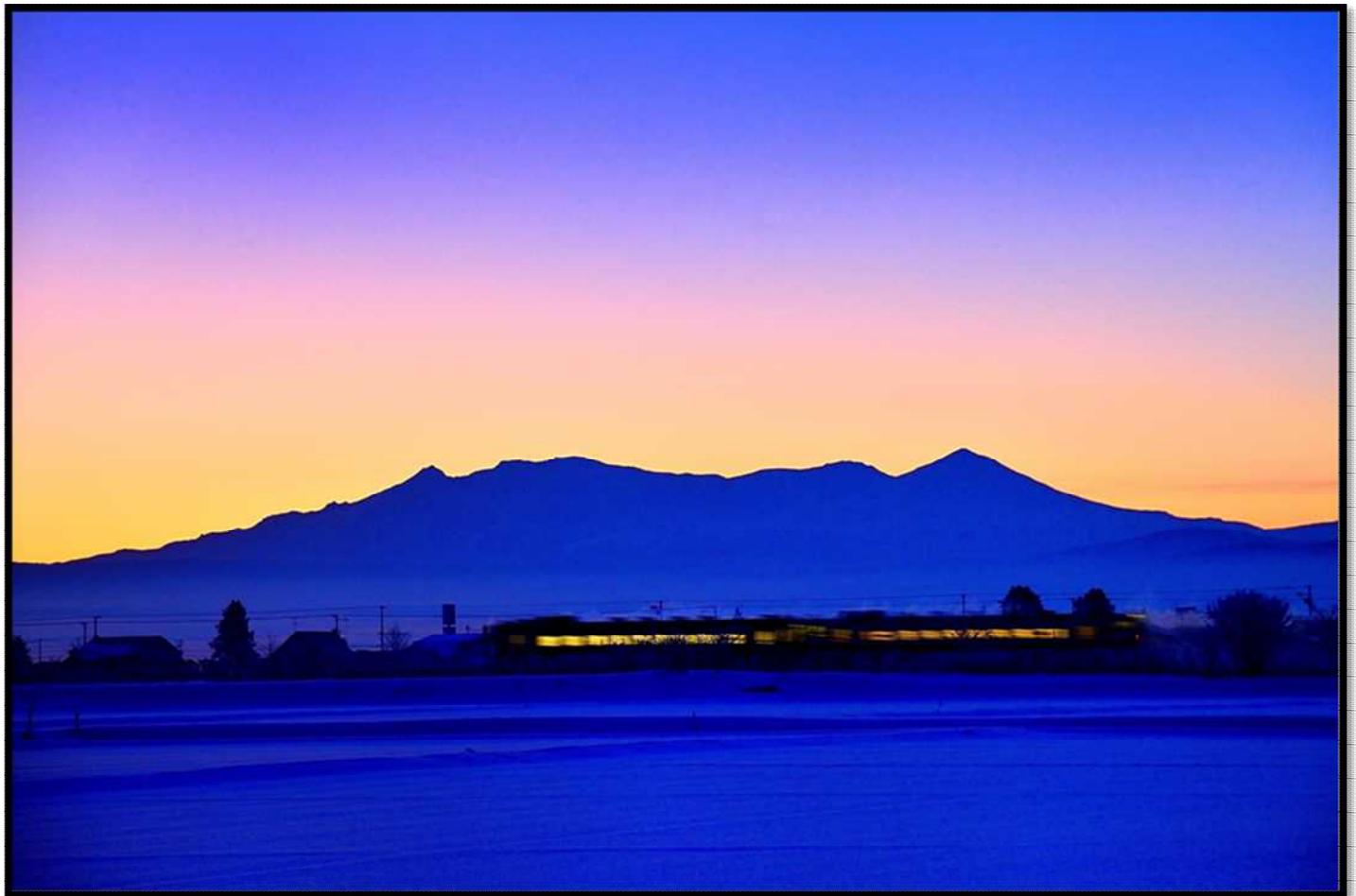
上川総合振興局長賞

撮影者：永井 和子

タイトル：夜明けの列車

撮影場所：旭川市永山 撮影日時：1月28日 6:16

素晴らしい朝焼けの中、大雪山旭岳連峰を仰ぎ下り列車が通過しております。  
一瞬の風景にも旅人や住民の生活が息づいている事に感動！ そして感謝です。



「冬」部門

宗谷総合振興局長賞

撮影者：手島 孝志

タイトル：冬利尻

撮影場所：稚内市勇知 撮影日時：3月22日

冬の利尻富士をバックに疾走する特急宗谷を撮影したいと思い、狙ってみました。



「冬」部門

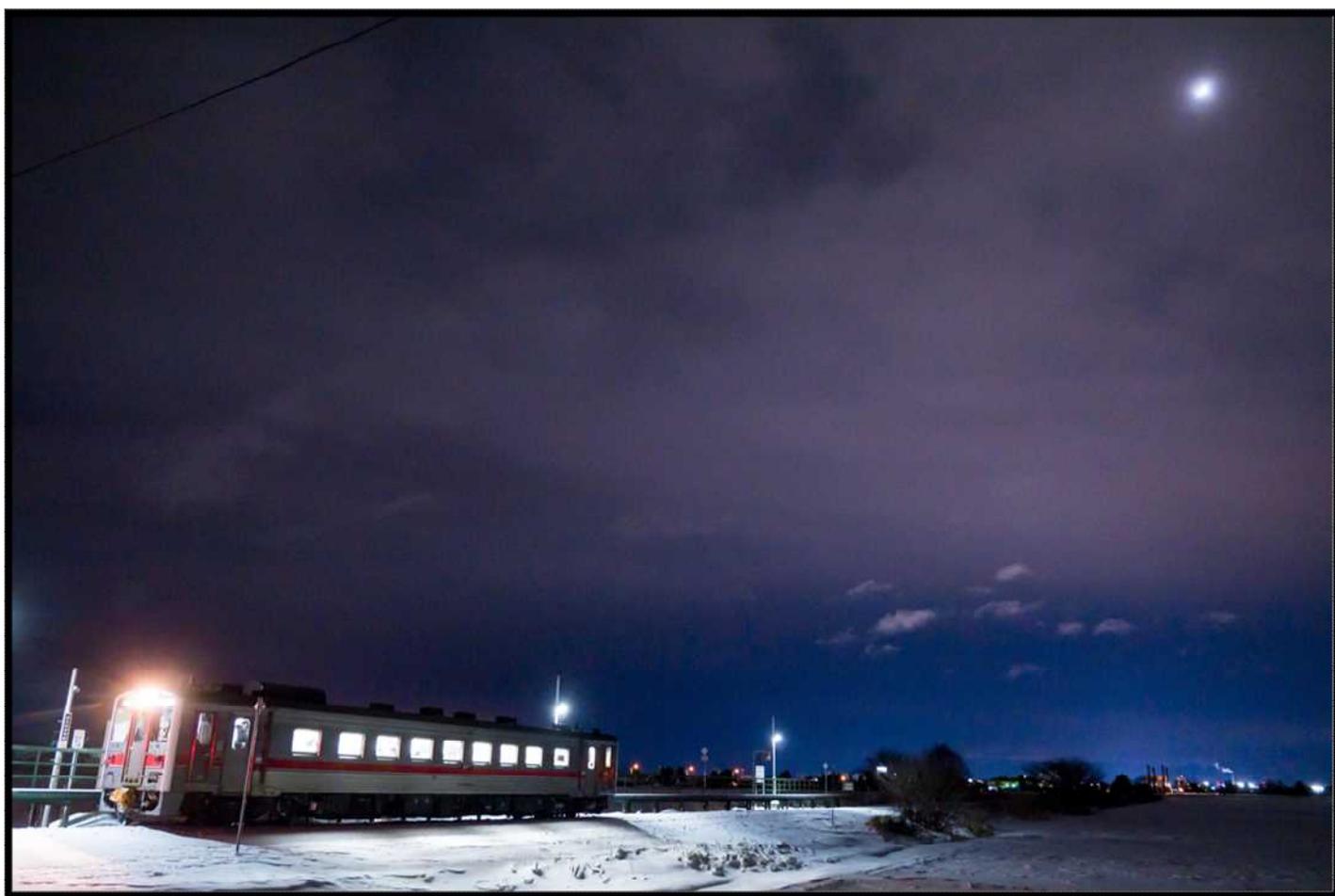
JR 北海道賞

撮影者：志津木 順

タイトル：喧騒を離れて

撮影場所：北永山駅 撮影日時：1月31日

旭川駅を離れてわずか20分。そこは北海道の冷たい風が吹く、音もない静かな空間。  
向こうの空が明るいの、旭川の街の灯りだろうか。  
都会の喧騒を離れてゆっくりとやってきた1両のディーゼルカーは、数名の高校生を乗せ、さらに北へと進んでいった。



「冬」部門

優秀賞

撮影者：登坂 直紀

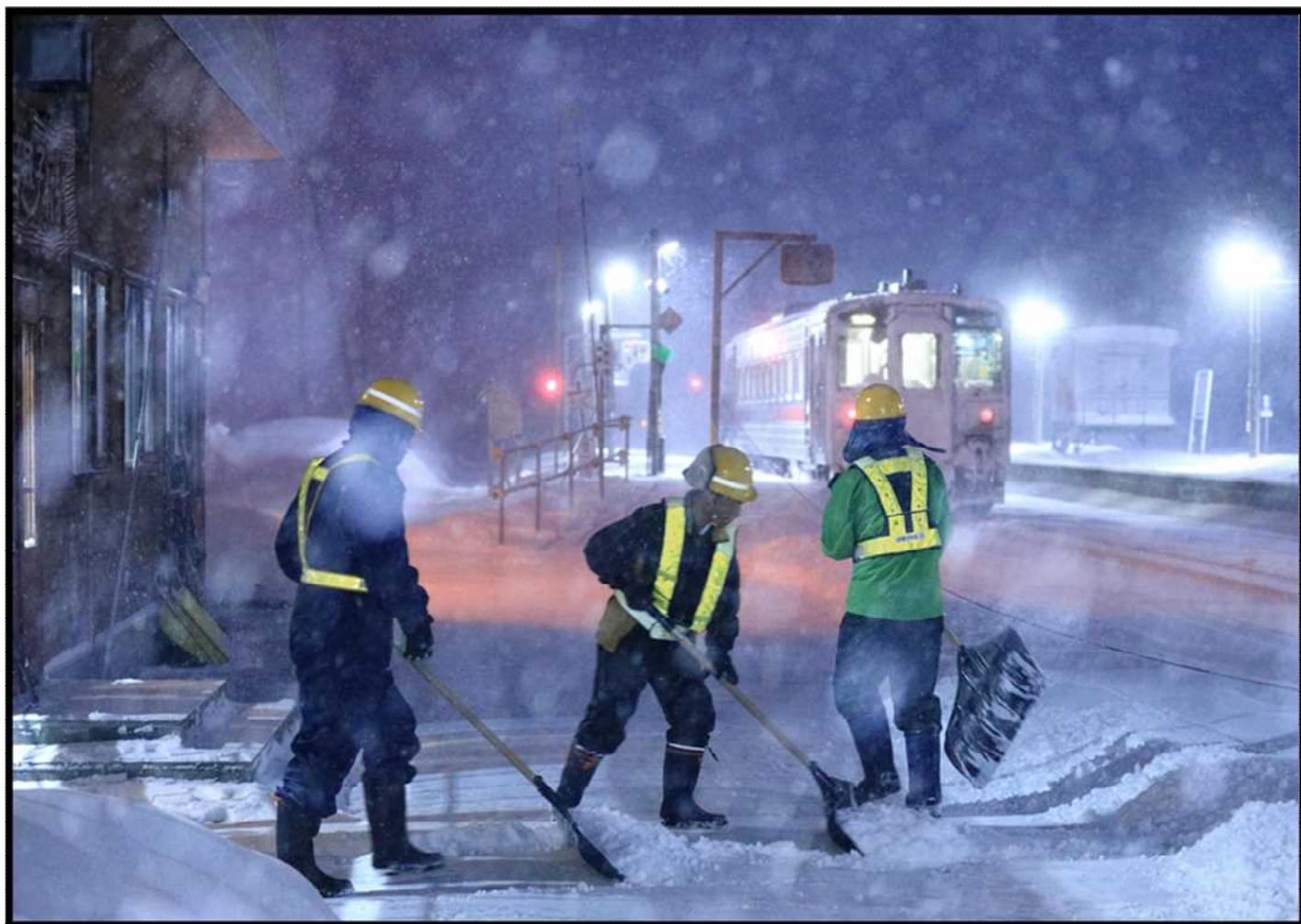
タイトル：使命

撮影場所：音威子府駅 撮影日時：12月31日

2019年最後の日、

里帰りで再会を喜ぶ声もすっかり静かになった音威子府駅。

大晦日の晩でも、鉄路を守るという鉄道員の使命は変わらない。



「冬」部門

優秀賞

撮影者：青木 昭伸

タイトル：終着稚内駅到着

撮影場所： 撮影日時：2月23日

日本最北端稚内駅に今まさに到着しようとする旭川発のサロベツ1号。この列車は折返し札幌行きの宗谷となります。

乗客がまだ入れないホームでただ一人列車を待ち構えているのは、この宗谷に乗務される車掌さん。無事に乗務を終えようとしている運転士さん二人にまるで労をねぎらうかのように手を上げお辞儀をしていました。

天候によっては豪雪強風の中運行される宗谷本線。

そんな鉄路の毎日の運行は、この方々の仕事で成り立っていると感じる瞬間でした。



「冬」部門

優秀賞

撮影者：廣野 令樹

タイトル：独擅場

撮影場所：名寄駅南の跨線橋にて 撮影日時：1月3日 18:13

日が完全に暮れた頃に、除雪車が一日の仕事を終え名寄駅の車庫へ戻っていくところを撮影しました。

除雪車にスポットライトが当たるのは、線路が雪で覆われている間だけ。

除雪車の活躍が無くては成り立たない冬の宗谷本線は、まさに彼らの独擅場と言えます。

